


整理番号	HT25142	分野	工学・物理	(キーワード)磁石
------	---------	----	-------	-----------

## 豊田工業高等専門学校

### プログラム名 とよた高専おもしろ科学教室 (磁石で楽しい工作)

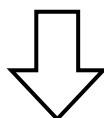
先生(代表者)	加納 善明 (かのう よしあき) 情報工学科・講師			
自己紹介	名古屋工業大学で磁石を使ったモータを学び、2004年に卒業。モータは古い技術と思われがちですが、まだまだ「進化」している技術です。わたしが夢中になったモータの魅力により多くの人に伝えたいと思います。			
開催日時・ 主な募集対象	平成26年1月11日(土)	(対象)	小学校5年以上 上中学生	(人数) 40名
集合場所・時間	豊田工業高等専門学校(図書館1階多目的ホール)	(集合時間)	12時30分	
開催会場 (集合場所)	豊田工業高等専門学校(図書館1階 多目的ホール) 住所: 〒471-8525 豊田市栄生町2-1 アクセスマップ: <a href="http://www.toyota-ct.ac.jp/intro/access.html">http://www.toyota-ct.ac.jp/intro/access.html</a>			
<b>内 容</b>				
<p>永久磁石や電磁石の色々な性質を小学校で学びます。磁石にはフェライト磁石、ネオジウム磁石など色々な種類があります。馬蹄形磁石、棒磁石、シート磁石など、形も色々あります。また、堅い磁石や柔らかいゴム状磁石、など様々です。身近には多くの磁石が使われていますが、あまり気がつかないかもしれません。例えば、よく知っているホワイトボードにくっつけるボタン磁石、冷気を逃がさないように密着させるため、冷蔵庫のドアにはゴム磁石が使われています。直接目に見えませんが、車や携帯電話にも磁石が使われています。それは、大小、色々な大きさ、形のモーターや発電機の重要な部品として使われています。携帯電話で着信を知らせるバイブレーションも実は中にあるおもりのついた小さなモーターが回って振動を起こしています。この工作教室では、「電磁力スペースシャトル」と言って地球の周りをクルクル回るスペースシャトルを作ります。これには磁石の不思議な性質を使って作るとても簡単なモーターを使います。</p> <p>また、高専ロボコンで活躍したロボットや高専でどんな研究が行われているか見学するショートツアーも行います。</p>				
<b>スケジュール</b>			<b>持ち物</b>	
12:30~13:00 受付(図書館 インキュベーションセミナー室前) 13:00~13:30 開会挨拶(オリエンテーション, 科研費の説明), ロボコンなど展示物見学 13:30~14:00 講義「磁石の不思議」 14:00~14:15 休憩 14:15~15:15 工作(電磁力スペースシャトル) 15:15~15:30 休憩 15:30~16:00 懇談会、修了式(アンケート記入、未来博士号授与) 16:00~16:30 高専見学ツアー 16:30 解散			筆記具	
			<b>特記事項</b>	
			これまでに愛知県以外など遠くから参加頂いた事もあります。このため、この科学教室は午後からの開催にして、皆さんに参加し易いようにしています。	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	総務課 企画・地域連携係 小林 祐二
住所：	豊田市栄生町2-1
TEL 番号：	0565-36-5828
FAX 番号：	0565-36-5930
E-mail：	Kikaku@toyota-ct.ac.jp
申込締切日：	平成25年12月13日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
加納善明	H22-H23	若手研究(B)	80456714	脱レアアースを目指す自動車用高出力密度モータの研究開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。